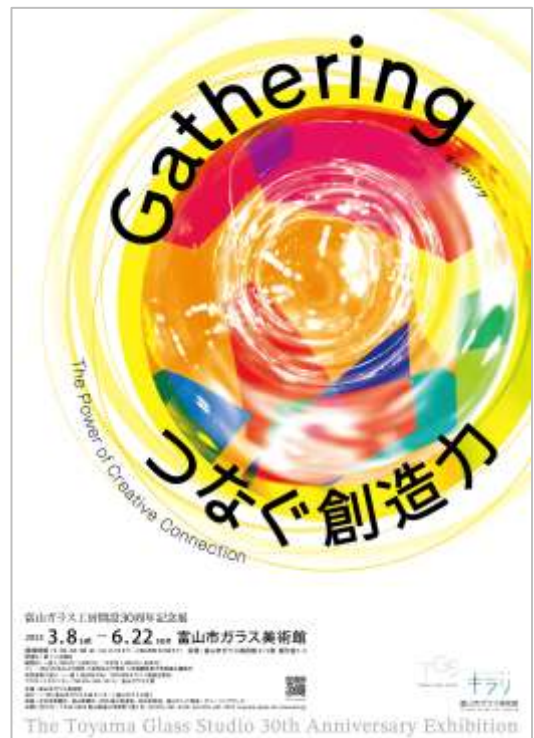


プレスリリース 2025.02.07

富山ガラス工房開設 30 周年記念展

ギャザリング

Gathering 一つなぐ創造力



展覧会名	富山ガラス工房開設 30 周年記念展 ギャザリング Gathering 一つなぐ創造力
会 期	2025 年 3 月 8 日（土）～6 月 22 日（日）
会 場	富山市ガラス美術館 2・3 階 展示室 1-3（〒930-0062 富山県富山市西町 5 番 1 号）
主 催	富山市ガラス美術館
後 援	北日本新聞社、富山新聞社、NHK 富山放送局、北日本放送、富山テレビ放送、 チューリップテレビ
協 力	（一財）富山市ガラス工芸センター[富山ガラス工房]
開場時間	9：30 - 18：00（金・土曜日は 20：00 まで、入場は閉場の 30 分前まで）
閉 場 日	第 1・3 水曜日
観 覧 料	一般 1,200 円（1,000 円） 大学生 1,000 円（800 円） ※（ ）内は 20 名以上の団体 ※本展観覧券で常設展も観覧可 【前売券取扱い】 一般 1,000 円のみ、3/7（金）まで TOYAMA キラリ 1 階総合案内 / 富山ガラス工房 / アスネットカウンター Tel 076-445-5511

※下記に該当する方は観覧料が無料となります。

○高校生以下の方 ○富山市に住所登録がある 70 歳以上の方

○お出かけ定期券またはシルバーパスかご提示の 65 歳以上の方

○身体障がい者手帳、療育手帳、または精神障がい者保健福祉手帳をご提示の方及び
その介助者（1 名）○団体引率者

お問い合わせ

富山市ガラス美術館 〒930-0062 富山県富山市西町 5 番 1 号

Tel 076-461-3100 Fax 076-461-3310

Email bijutsukan-01@city.toyama.lg.jp Web toyama-glass-art-museum.jp

展覧会について

“Gathering”—「集める、引き寄せる」といった意味を持つこの単語は、吹きガラスの現場で「竿にガラスを巻きとる」ことを表す言葉でもあります。

1994年に開設された富山ガラス工房は、2024年で30周年を迎えました。同工房は「ガラスの街とやま」において、ガラス作家の育成と自立支援、グラスアートの普及、ガラス工芸産業の振興を担う施設として設立されました。その長い歩みの中で、ガラスの制作体験や制作講座などを通じたガラス文化の普及事業、工房オリジナル色ガラスの開発を始めとした富山ガラスのブランディング、他分野の作家や他業種とのコラボレーションなど様々な取り組みを行っています。ガラスと様々なものをつなぎ、大きく成長してきたその姿は、色ガラスなどを巻き込みながら形を成していく竿先のガラスにも似て、熱くエネルギーに満ちたものであったといえます。

工房にはこれまで100名を超える作家が所属し、その創造力あふれる若い才能が、富山ガラスの魅力を発信してきました。所属作家はスタッフとして過ごす日々を通して切磋琢磨し、その多くは工房を離れたのちも、ガラス作家として国内外で活躍しています。伝統的なガラス技法を修め、自らの作品へと昇華する者、新たな技法を開拓し独自の造形表現を目指す者、器を中心にクラフトの美学を突き詰める者…、一作家として彼らが制作する作品は実に多彩かつ豊かです。

本展では歴代所属作家の作品が一堂に会します。富山ガラスの可能性を切り開き、ガラス文化の裾野を内外に広げてきた工房の軌跡をたどるとともに、未来へと続く針路を展望します。ご期待ください。

展示内容

第一章 灯された炎

1994年3月30日、溶解炉の点火式が行われ、富山ガラス工房の歩みがはじまりました。当初は施設の規模も現在より小さく、手探りでスタートとなりましたが、吹きガラスの体験コースやガラス制作講座、毎年工房で開催されるイベント「GLASS FESTA」など、現在に続く活動の原型が早くも出来上がっていきます。その他にも、池田満寿夫や日比野克彦、ヴェネツィアングラスの巨匠リノ・タリアピエトラといった外部の作家とのコラボレーションも企画されました。

また、当初の工房スタッフはほとんどが1991年に設立された富山ガラス造形研究所の卒業生であり、富山の地で学んだガラス造形の技を活かして初期の工房を支えました。所属作家は数年の任期で入れ替わるシステムとなっており、彼らは工房を離れたのちも全国各地に拠点を開き、作家や教育者など様々な形でガラスに携わっています。

本章では1994年の設立から2000年までのガラス工房の活動について、設立当初を支えた所属作家の作品と共に振り返ります。

お問合せ

富山市ガラス美術館 〒930-0062 富山県富山市西町5番1号

Tel 076-461-3100 Fax 076-461-3310

Email bijutsukan-01@city.toyama.lg.jp Web toyama-glass-art-museum.jp



第二章 奮い立つオリジナリティ

2000年代に入ると、工房オリジナル色の開発や、プロダクトデザイナーを招いたワークショップによる定番商品の企画など、富山ガラスの産業化に向けた取り組みが始まります。特に工房オリジナル色の開発は、その後「富山^{とやまんだらさい}曼荼羅彩」として20年にも及ぶ一大プロジェクトとなりました。

2004年には創作工房とギャラリーを増設、2012年には制作体験の機能をより強化した第二工房を新設します。これによって、制作スペースのレンタルによる作家支援や、現在につながる充実した内容の体験プログラムが可能となりました。制作体験者の累計は2024年度でのべ19万人を超え、多くの市民に親しまれています。

施設の拡張に従い、所属作家も増えていきます。工房の成長に合わせてその名が広まるにつれ、より幅広い人材が工房の門戸をたたくようになっていきました。彼らは工房で様々な経験を積み、その後自らの工房を持って独立する作家もあらわれています。

本章では、ガラスの街の拠点として成長していく2000年から2012年にかけての工房の歩みを、当時の所属作家の作品と共に振り返ります。

第三章 広がりゆく富山ガラス

2012年以降、工房の活動はより幅広い分野にわたっていきます。2015年の北陸新幹線開通にあたっては、富山駅に設置するフロアシャンデリア、トランジット・ライティング・ウォールを県内企業と共に制作。リニューアルした駅構内を彩りました。

2019年には「富山ガラスラグジュアリーブランド事業」の一環として「富山アイコニック」のシリーズが新たに始まります。こうしたブランディング戦略も評価され、2021年には「富山ガラス」が富山県の推奨ブランドとして認定を受けるまでになりました。

さらに近年では、環境に配慮した形でガラス制作を行う取り組みがスタートしました。この一つとして、本来廃棄されてしまう素材を再利用したリサイクルガラス「リメルト・ブルー」が誕生しています。

所属作家の数は2000年代前半より大きく増え、工房は全国各地から幅広く若い才能が集まるエネルギーに満ちた場所となりました。ガラスについて多様なバックボーンを持つ彼らの作風はバラエティに富んでおり、オブジェからクラフトに至るまで素材に対する様々なアプローチが行われています。

本章では2012年から現在に至るまでの所属作家の作品と共に、富山ガラスの魅力を多方面にむけて発信する近年の活動を紹介し、工房の未来を展望します。

QRコードを読み込むことで、本展覧会の概要を多言語にてご覧いただけます。
(日本語、英語、簡体字、繁体字、ハングル、仏語、独語、伊語に対応)



お問合せ

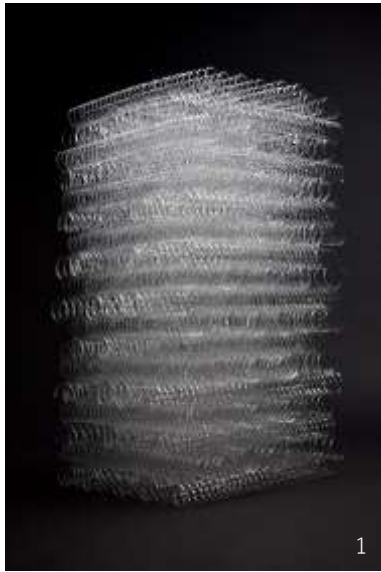
富山市ガラス美術館 〒930-0062 富山県富山市西町5番1号

Tel 076-461-3100 Fax 076-461-3310

Email bijutsukan-01@city.toyama.lg.jp Web toyama-glass-art-museum.jp



出品作品



1. 廣瀬絵美《Accumulation》2020 年
2. 池本美和《Water Forest》2024 年 撮影：Hidekatsu Inoue (Arboreo)
3. 輪島明子《熾火の分子》2022 年
4. 小牟禮尊人《水影》2024 年
5. 宮下真巳《月明かり》2020 年
6. 西山雪《色謳う》2024 年 撮影：伊藤留美子

お問い合わせ

富山市ガラス美術館 〒930-0062 富山県富山市西町5番1号

Tel 076-461-3100 Fax 076-461-3310

Email bijutsukan-01@city.toyama.lg.jp Web toyama-glass-art-museum.jp

関連プログラム

トークセッション

富山ガラスの魅力や今後の展望についてお話しします。

日 時：5/31（土）14:00から

場 所：富山市ガラス美術館 2階ロビー

参加無料、申込不要

学芸員によるギャラリートーク

日 時：3/29（土）、4/26（土）、5/25（日）、6/21（土） 各回 14:00から

場 所：富山市ガラス美術館 2・3階展示室1-3

参加無料、申込不要

※展示室への入場には、本展観覧券が必要です。

富山ガラス工房特別制作体験《ガラスのライチョウに絵付けをしよう！》

日 時：4/19（土）、20（日）、26（土）、27（日）、29（火・祝）、
5/3（土）、4（日）、5（月・祝）、6（火）、10（土）、11（日）

①9:20～ ②10:30～ ③13:20～ ④14:30～

※各定員5名（4/19、20は、9:20～11:30、13:20～15:30）

場 所：富山ガラス工房第2工房

問合せ：富山ガラス工房第2工房 Tel：076-436-3322

事前申込制

※申込方法等の詳細は、富山ガラス工房にご確認ください。

※展示室への入場には、本展観覧券が必要です。

※関連プログラムの詳細は美術館公式ウェブサイトやSNSなどでお知らせします。

※プログラムは都合により中止、または変更となる場合があります。

最新の情報は美術館公式ウェブサイトをご確認ください。

お問合せ

富山市ガラス美術館 〒930-0062 富山県富山市西町5番1号

Tel 076-461-3100 Fax 076-461-3310

Email bijutsukan-01@city.toyama.lg.jp Web toyama-glass-art-museum.jp

美術館概要



7. 富山市ガラス美術館 外観



8. 富山市ガラス美術館 内観

富山市ガラス美術館は、「ガラスの街とやま」を目指したまちづくりの一環として、2015年8月に開館しました。本美術館は富山市立図書館本館などが入居する複合施設「TOYAMA キラリ」内に整備され、富山市の中心市街地に位置することから、文化芸術の拠点としてだけでなく、まちなかの新たな魅力創出の役割を担ってきました。

世界的な建築家の隈研吾氏が設計を手掛けた建物は、御影石、ガラス、アルミの異なる素材を組み合わせ、表情豊かな立山連峰を彷彿とさせる外観となっています。また、内部は富山県産材のルーバー（羽板）を活用した開放的な空間となっています。

常設展として、アメリカの現代ガラスの巨匠、デイル・チフリー氏によるインスタレーション作品を展示する6階「ガラス・アート・ガーデン」のほか、所蔵作品を紹介する4階「コレクション展」や2階から4階の展示室壁面などに富山ゆかりの作家が制作した作品を展示する「ガラス・アート・パサージュ」があります。また企画展では1950年代以降のガラス・アートを中心に、様々な美術表現を紹介しています。

交通アクセス

〔富山駅より〕

○徒歩 20 分 ○市内電車南富山駅前行に乗り、「西町（にしちょう）」下車、徒歩 1 分

○市内電車環状線に乗り、「グランドプラザ前」下車、徒歩 2 分

（富山駅から「西町」「グランドプラザ前」まで約 10 分）

〔富山空港より〕

○地鉄バス（富山空港線）「総曲輪（そうがわ）」下車、徒歩 4 分

お問合せ

富山市ガラス美術館 〒930-0062 富山県富山市西町5番1号

Tel 076-461-3100 Fax 076-461-3310

Email bijutsukan-01@city.toyama.lg.jp Web toyama-glass-art-museum.jp

美術館公式 SNS アカウント



Instagram

アカウント名
toyamaglassartmuseum



Facebook

アカウント名
toyamaglassartmuseum



Youtube

チャンネル名
ToyamaGlassArtMuseum 富山市ガラス美術館

報道関係のお問合せ先

富山市ガラス美術館

Tel 076-461-3100 Fax 076-461-3310 E-mail bijutsukan-01@city.toyama.lg.jp (代表)

広報担当：渡辺、小谷 展覧会担当：西田

広報用画像の貸出しについて

p.7、5 の画像 1～8 を広報用に貸出します。ご希望の方は、p.9 の画像貸出し申請書の使用条件をご確認の上、メールまたは Fax にて上記の美術館広報担当へ申請書をお送りください。

お問合せ

富山市ガラス美術館 〒930-0062 富山県富山市西町5番1号

Tel 076-461-3100 Fax 076-461-3310

Email bijutsukan-01@city.toyama.lg.jp Web toyama-glass-art-museum.jp

年 月 日

(宛先) 富山市ガラス美術館長

担当者：

T e l：

F a x：

E-m a i l：

住所：

団体名：

富山市ガラス美術館 画像貸出し申請書

次のとおり、掲載用素材として企画展「富山ガラス工房開設 30 周年記念展 ^{ギャザリング} Gathering 一つなぐ創造力」の画像を申し込みます。

1. 掲載（放映）媒体名：

2. 媒体種別：TV 新聞 雑誌 フリーペーパー 電子書籍 WEB サイト 携帯媒体
その他（ ）

3. 掲載の趣旨

別紙のとおり（媒体資料を添付してください）

4. 掲載（放映）日時：

5. ご希望の画像番号：

- ☐ 画像は原則、全図でご使用ください。トリミング、部分使用、縦横比の変更、文字のせはご遠慮ください。
- ☐ 画像掲出には別途指定するキャプションを必ず入れてください。
- ☐ 展覧会広報のみにご使用ください。他の目的でのご使用は固くお断りいたします。
- ☐ 商品の P R 等の商業利用に関しては画像の提供は出来ません。
- ☐ 画像の 2 次使用はご遠慮ください。

※画像が使用できる期間は展覧会期間内のみとなります。

※同一記事の再掲載や再放送等については再申請が必要となります。

- ☐ 校正ゲラの段階で情報の確認をさせていただきます。
- ☐ 記事が掲載された場合は掲載見本（DVD、掲載紙、掲載誌等）を美術館広報担当へご寄贈ください。

申請書送付先：富山市ガラス美術館 広報担当 E-mail: bijutsukan-01@city.toyama.lg.jp Fax：076-461-3310

お問合せ

富山市ガラス美術館 〒930-0062 富山県富山市西町 5 番 1 号

Tel 076-461-3100 Fax 076-461-3310

Email bijutsukan-01@city.toyama.lg.jp Web toyama-glass-art-museum.jp

